

## 編集 後記

1988年第2次国民健康づくり対策において、一人ひとりが80歳になっても身の回りの事ができ、社会参加ができるようにという目標を立て「栄養、運動、休養」という健康づくりの3要素のバランスのとれた健康的な生活習慣の確立に重点が置かれた。2000年には、「健康寿命の延伸、生活の質の向上」を目的とするため健康日本21が策定され、健康寿命を短縮し、生活の質を低下させる生活習慣病とその原因である生活習慣に関する9分野について目標を設定している。健康日本21では生活習慣の範囲について「食習慣、運動習慣、喫煙、飲酒」というように、喫煙の項目が加えられました。その後生活習慣病の予防と改善を目的に「健康づくりのための運動指針2006」が厚生労働省から発表され、活発な身体活動と運動習慣化に向けた取り組みが国を挙げて押し進められている。

今回は原著2編、研究ノート2編、資料1編、連載3編と充実した内容です。その中で前述したように2編が2006年の運動指針に関するもので、1編は安全性、目安などが分析して述べられており、他の1編は認知度を上げるためのターゲット集団、対象者へのし易さなど、原著ではタバコに関する取組としての社会的環境と個人を取り囲む因子について分析検討がされています。研究ノートでは高齢化社会を反映した転倒原因の背景について、また今までとは異なった視点で中国に於いての在宅ケーサーサービスの関連要因もあります。これからの自治体施策に参考になる記述が多く掲載されています。今後、このような健康施策に反映できる論文が多く投稿されることを期待いたします。(村主千明)

## 次号予告 (第58巻・第4号)

### 論 壇

新型インフルエンザの流行初期における停留措置の意思決定のあり方の検討……河田耕治, 他

### 研究ノート

大学および附属病院の全面禁煙実施による施設利用者の意識・行動への影響……河邊真好, 他  
新潟県中越沖地震における養護教諭の実践活動と学校保健室の機能について

—養護教諭へのインタビューによる質的分析から—……佐光恵子, 他

A 県郊外に在住する虚弱高齢者の交流頻度とその関連要因……中村恵子, 他

### 資 料

わが国の某総合大学におけるメタボリックシンドローム対策の各種基準による該当者の選定状況の比較検討……林 江美, 他

### 連 載

健康の社会的決定要因(12)……藤野善久

ヘルスサービスリサーチ(9)……坂野昌司

社会と健康を科学するパブリックヘルス(5)

……中原俊隆